NIPPON ANTENNA

取扱説明書

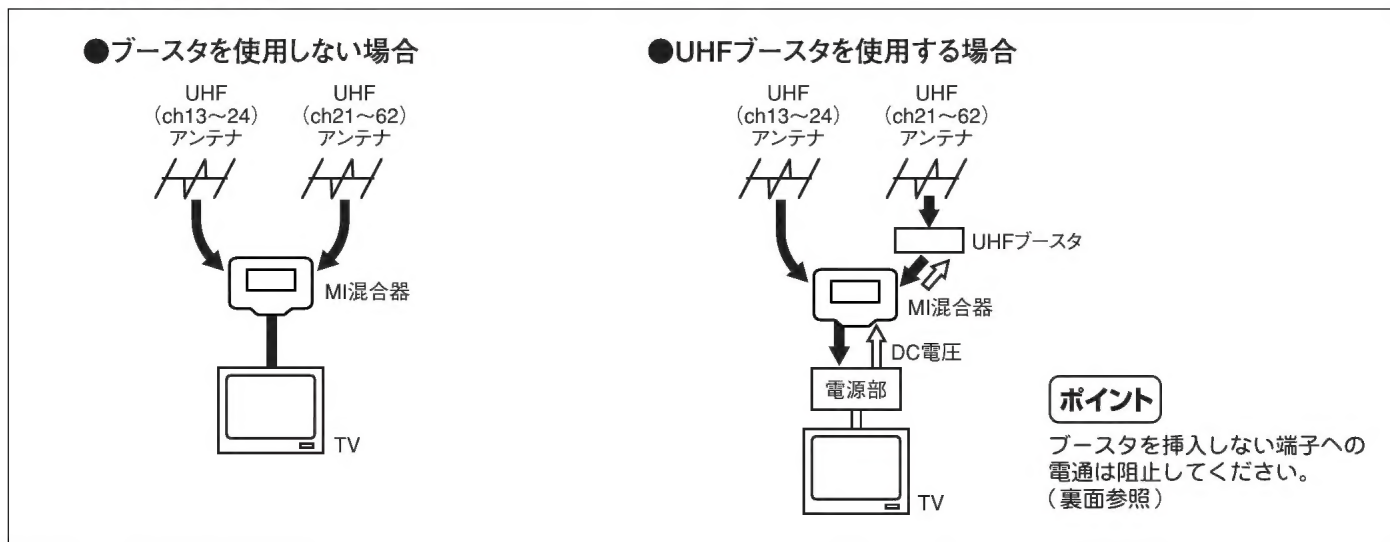
屋外用混合器（直付け）
UHF（ch13～24）／UHF（ch21～62）用

MODEL
MI（13－24/21－62）

●このたびは、日本アンテナの製品をお買い上げいただきありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保存してください。

■特 長

1. 本製品はUHF帯（ch13～24）と（ch21～62）を混合することができます。
2. 超小型ハイQ共振回路を使用している高級フィルタ型混合器で、阻止帯域減衰量が優れておりますので、相互干渉を受けることなく混合できます。
3. ch13～24とch21～62のIN側に－10dBのATT（減衰器）が設けてあります。
4. OUTとch13～24端子、OUTとch21～62端子間電通可能です。最大（DC15V･0.5A／AC30V･1A）
5. ケーブル引込口は二重リブ構造により、優れた防水性を確保しています。

■混合器の接続例

■取扱上の注意事項

1. ブースタ（増幅器）のご使用に際しては、その取扱説明書を充分お読みください。
2. ブースタを使用される場合、増幅部と電源部を結ぶ同軸ケーブルには、電源電圧が重畳されていますので、ケーブル接続部分で芯線と編組線が短絡しないように注意してください。もし短絡しますと、テレビに画像がでないばかりでなく、故障の原因にもなります。

■MI（13－24／21－62）混合器特性

項目 ＼ 使用帯域		UHF	UHF
混合チャンネル	(ch)	13～24	21～62
通過帯域損失	(dB)	9以下	9以下
切換式ATT減衰量	(dB)	－10	－10
阻止帯域減衰量	(dB)	20以上	20以上
入力インピーダンス	(Ω)	75	75
出力インピーダンス	(Ω)	75	
電圧定在波比		3.0以下	3.0以下
使用温度範囲	(℃)	－10～＋40	
外形寸法	(mm)	高さ90　幅118　奥行41	

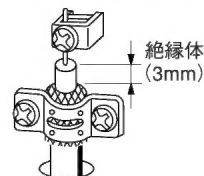
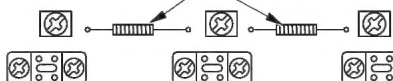
日本アンテナ

■配線方法

●ケースの開けかた

カバーを上側へ持ち上げると開きます。
カバーは本体と直角程度まで開きますとストッパで固定されます。

ケーブルの取付が完了したらカバーをしっかり閉めてください。

ポイント
同軸ケーブルの芯線、編組線は他の部品等とショートさせないでください。

それぞれの端子間のチョークコイルをはずせば電通阻止できます。

ch13～24の電波が強い場合には−10dB側にスイッチを入れてください。

−10dB
0dB

IN側接続

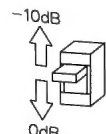
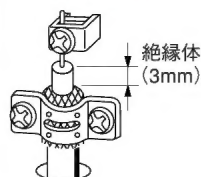
絶縁体（3mm）

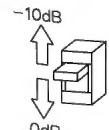
UHF（ch13～24）アンテナより

OUT テレビへ

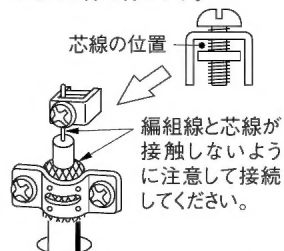
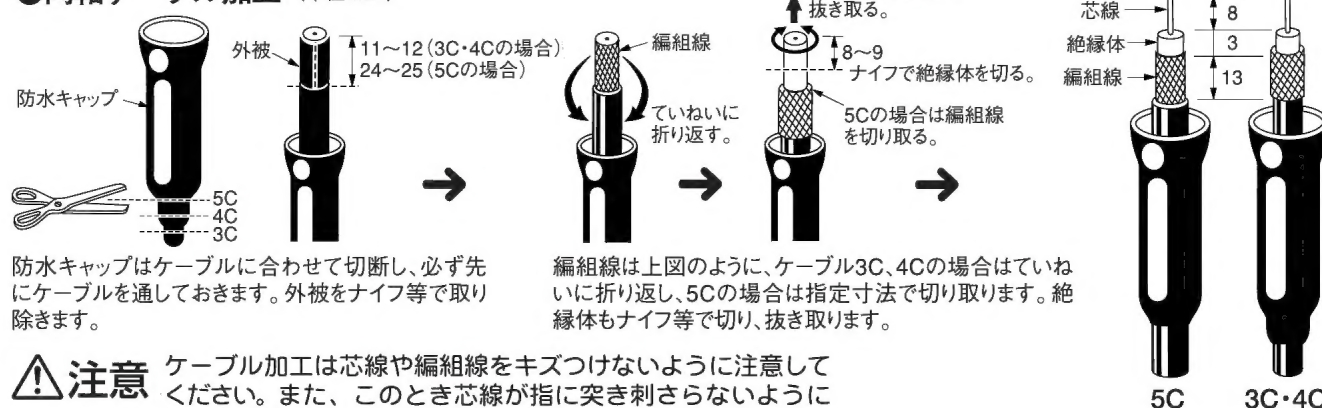
UHF（ch21～62）アンテナより

OUT側接続

絶縁体（3mm）

ch21～62の電波が強い場合には−10dB側にスイッチを入れてください。

−10dB
0dB

ビスをゆるめ芯線を図のようにはさんで締め付けます。

芯線の位置

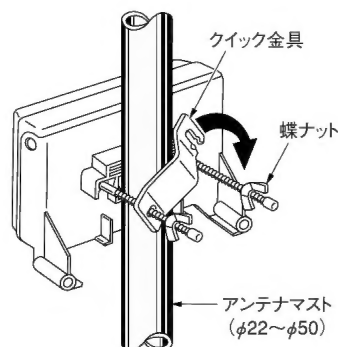
編組線と芯線が接触しないように注意して接続してください。

●同軸ケーブル加工（単位:mm）

防水キャップはケーブルに合わせて切断し、必ず先にケーブルを通しておきます。外被をナイフ等で取り除きます。

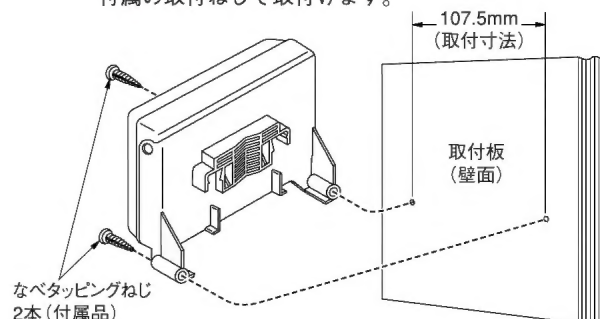
編組線は上図のように、ケーブル3C、4Cの場合はていねいに折り返し、5Cの場合は指定寸法で切り取ります。絶縁体もナイフ等で切り、抜き取ります。

⚠注意 ケーブル加工は芯線や編組線をキズつけないように注意してください。また、このとき芯線が指に突き刺さらないように注意してください。

■混合器の取付方法

●マストへの取付方法

クイック金具を持ち上げ、マストに挿入し、再び金具をセットして蝶ナットでしっかり締め付けます。

●壁・柱への取付方法

付属の取付ねじで取付けます。

情報通信が仕事です。

日本アンテナ株式会社

本社／〒116-8561 東京都荒川区西尾久7-49-8 ☎(03) 3893-5221（大代）

※製品改良のため、仕様、外観の一部を予告なく変更することがあります。

D832010100 平成15年11月